

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	121いきいきとした生涯学習の推進		
施策のねらい(めざす姿)	市民が生涯を通じて学習に取り組み、その成果を地域で活かし、生きがいをもって生活しています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	生涯学習部次長
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	マネージャー氏名	狩谷 昭夫

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	老朽化した東初富公民館及び図書館の長寿命化を図るため、大規模改修工事を実施して、市民の学習環境の向上を図る。	③改革・改善内容	老朽化した施設の整備として図書館エレベータ改修工事を実施し、環境整備を図るとともに、多様化・専門化が進む市民の学習意欲に応じた学習機会を捉え、施設利用者や図書館資料貸出数の増加を図る。
②①に基づく取り組み結果	平成29年度に東初富公民館の外壁、屋上改修を行い、また、図書館については、平成30年度にエレベータ改修工事の設計及び非常用照明の改修を行った。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	生涯を通じて学習に取り組み、その成果を地域で活かして生きがいをもった生活をしている。
②施策の概要	市主催講座の実施や、図書館蔵書の充実などにより生涯学習に関する市民ニーズの多様化・高度化に柔軟に対応するとともに、公民館などの学習施設の改修などにより、快適な学習環境を整備することで、市民の自主的な学習活動に対して支援を行う。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民の学習意欲の拡大は見込んでいるが、社会情勢などの変化により多様化が進み、市民が求めている学習内容を的確にとらえる必要があるとともに、学習情報の提供についてさらに検討していく必要があると考える。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29～30年度の施策の成果	効果的で効率よく施設予約ができるようシステムの更新を行うとともに、市民が参加しやすく、興味を喚起するよう手作りによる学習情報の提供を行った。また、各学習センターでは市民企画委員による講座において活躍している市内の人材を事業に結び付け人材育成及びふるさと意識の醸成につなげた。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値(2年度)
	i	生涯学習をしている市民割合	%	—	—	54.9	67.0
	ii	学習施設利用者数	人	327,891	329,862	324,078	400,000
	iii	図書館資料貸出数	冊	397,206	405,089	386,476	450,000
③基本事業成果指標	i	公共施設予約システムアクセス件数	件	120,997	209,970	238,814	56,000
	ii	ネット予約件数	件	—	14,811	13,470	15,250
	iii	学習センター登録サークル・団体数	団体	464	455	443	500
	iv	市主催講座参加者数	人	20,550	20,288	19,175	27,000
	v	公民館まつり参加者数	人	9,827	10,332	9,475	10,000
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成29年度決算	平成30年度決算	市民一人あたり事業費(30年度決算)	令和元年度予算			
事業費(千円)	360,549	244,601	(単位:円)	2,236円	271,089		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	年々、市民の学習意欲の多様化、専門化が進んでいるとみられ、こうした要望に応える講座の提供や、図書館においては蔵書の内容の充実、環境の整備が求められている。		
②総合評価	4未達成	③総合評価の理由	施策の成果指標及び基本事業成果指標において、一部目標値を達成している指標があるが、その他の指標においては前年度指標を下回った状況のため。

V 今後の方向性

①施策の方向性	↑ 拡充
②上記方向性の説明	講座内容等については、利用者からの声を聴くことにより改善の検討ができるが、快適な学習環境の提供は多額の経費が必要となる学習施設改修が必要となるため。
③特に重点化する事務事業	学習センター等改修事業